学校番号	３０１

令和３年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ（理型）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	啓林館「詳説数学Ⅱ　改訂版」						
副教材等	啓林館「マスグレード数学Ⅱ＋Ｂ」、「チェックノート数Ⅱ＋Ｂ」						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自然科学における真理は、正しい仮定と正しい推論にさえよれば万人が手に入れられる、人為に左右されない普遍的な価値です。学校数学で扱われている内容は先人によって既に確立されたものですが、あなた自身でそれを再発見することにこそ、喜びと意義があります。営々と築かれてきた人類の叡智を受け継ぎ、後世に伝えていって下さい。

２　学習の到達目標

・数列，ベクトルについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。
・平面上の曲線についての理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数列またはベクトル，平面上の曲線に関心をもつとともに，それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的に考えたりすることなどを通して，数列またはベクトル，平面上の曲線における数学的な見方や考え方を身につけている。	数列またはベクトル，平面上の曲線において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	数列またはベクトル，平面上の曲線における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身につけている。
評価方法	確認テスト 単元テスト ワークシート レポート 観察等	単元テスト 定期テスト ワークシート レポート 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト レポート 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	数列	等差数列・等比数列 いろいろな数列 漸化式と 数学的帰納法	○	○	○	○	a: いろいろな数列に関心をもつとともに，その規則性を表現することのよさを認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b: 数列の規則性や一般項，和を考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 数列の一般項や和を求めたり，数学的帰納法を用いて命題を証明したりすることができる。 d: 数列の一般項や和，漸化式，数学的帰納法の基本的な概念，性質を理解し，知識を身につけている。	テスト レポート 観察等
2学期	平面上のベクトル	ベクトルと その演算 ベクトルと図形	○	○	○	○	a: ベクトルに関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b:事象をベクトルを用いて考察し表現したり，思考の過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c:事象をベクトルを用いて表現・処理する仕方や推論する方法などの技能を身につけている。 d: ベクトルに関する基本的な概念，原理・法則などを理解し，知識を身につけている。	テスト レポート 観察等
3学期	空間座標とベクトル	空間のベクトル	○	○	○	○	a:空間図形の考察において，座標やベクトルを活用しようとする。 b:″空間に拡張した座標やベクトルについて考察することができる。 c:″空間図形の考察において，座標やベクトルを用いて処理することができる。 d:″空間図形の基本的な性質や，空間座標やベクトルの性質を理解している。	テスト レポート 観察等
3学期	複素数平面	複素数平面 複素数の極形式 ド･モアブルの定理	○	○	○	○	a: 複素数を座標平面上の点に対応させて表示し，それを事象の考察に活用しようとする。 b:複素数と複素数平面での表示を関連づけて，事象を考察し，多面的・発展的な考え方をすることができる。 c:複素数を複素数平面上に図示できる。また，平面図形の性質を調べる際に用いることができる。 d: 複素数平面の基本的な概念や性質を理解し，複素数平面上の平面図形を複素数を用いて考察することができることを理解している。	テスト レポート 観察等